

はじめに

本県に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から4年が経ちました。これまでの間、本県の復興は着実に前へと進んでおりますが、今なお11万人を超える方々の避難が続いているなど、福島県はまだ有事の状態にあります。幾多の災害が発生する中において、本県における消防防災体制は、関係各位の御努力により、着実に充実強化されてきており、本県の安全・安心の確保に重要な役割を果たしていることに対し、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、今年度は、豪雪災害、広島市で発生した大規模な土砂災害、御嶽山の噴火など、全国で大きな災害が発生したことを踏まえ、福島県地域防災計画における雪害対策、土砂災害対策、火山災害対策について主に修正を行い、災害対策の強化を図りました。今後も、県民の安全・安心の確保のため、防災体制の充実・強化に全力で取り組んでまいります。

また、平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が公布、施行され、住民にとって身近な存在である消防団を地域防災力の中核として位置付け、その機能が強化されました。地元消防団と合同で高校生を対象にした「ふくしま消防防災出前講座事業」を今後も継続することで、高校生の消防団への理解を深め、年々減少する消防団の未来を担う人材確保を、市町村と共に取り組んでまいります。

さらに、消防団員の8割が被雇用者であることを踏まえ、「地域の消防・防災力の要」として大きな役割を果たしている消防団入団と消防団活動がしやすい環境を作るため、県内の経済団体、事業所等を訪問し、協力要請をこれからも継続していきます。

本書は、平成25年中に発生した県内の災害等の状況や消防業務全般についての統計データを収録したものです。消防防災関係者のもとより、多くの皆様方に御活用いただき、今後の消防防災施策の参考としていただければ幸いです。

平成27年3月

福島県生活環境部

次長(県民安全担当) 玉根吉正